

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業				
事業の概要	事業完了日	平成23年3月25日			
	総事業費	328,216千円			
	交付金額	109,405千円			
	整備対象地域	仙台市青葉区熊ヶ根、上愛子、大倉、作並、新川 太白区秋保町長袋、秋保町馬場			
	事業の内容	<p>仙台市では、整備当時、居住地域の大部分において超高速ブロードバンドサービスを良好に利用することができるものの、西部地域全体（青葉区の一部（熊ヶ根、上愛子、大倉、作並、新川）及び太白区の一部（秋保町長袋、秋保町馬場））では、立地条件等により当該サービスの利用が困難な地域が存在していた。</p> <p>インターネット等を通じた情報の受発信が市民生活に浸透する中、このような情報格差の早急な是正が望まれていたが、当該地域においては採算性の問題から民間事業者による光ファイバ網等の整備が期待できない状況であったことから、市で光ファイバ網の整備を行い、IRU契約により通信事業者に光ファイバ網を貸し出すことで、当該地域に居住する約2,000世帯へ超高速ブロードバンドサービスを提供した。</p>			
ブロードバンド	サービス開始日	平成23年5月25日			
	サービス形態	公設民営（IRU）			
	契約先	東日本電信電話株式会社 宮城支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	H23年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	2,054	2,054	1,989	2,006
	加入世帯数	418	836	505	847
	加入率（％）	20.4	40.7	25.4	42.2
評価及び課題	<p>本事業により、西部地域において超高速ブロードバンドサービスが提供されるようになり、仙台市内全域で超高速ブロードバンドを利用できる環境が整備されたことで、地域間の情報格差が解消された。</p> <p>また、整備当初から着実に加入世帯数が伸びており、平成27年度末時点で、整備計画時に掲げた最終目標値の加入率40.7%を上回り、目標を達成することができた。</p> <p>一方、今後想定される光ファイバ網の設備更新に係る財源をどのように確保していくかが課題である。</p>				